

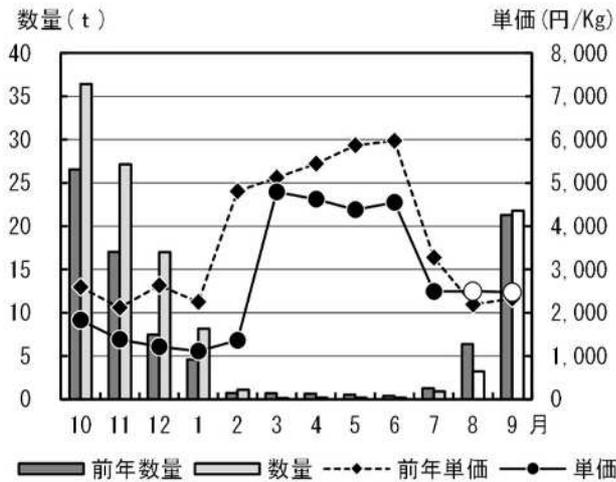
東京都中央卸売市場における9月の主要な愛知産青果物の動向

1 9月の見通し

品目名 ぎんなん

実績等		区分	入荷量 (t)	卸売価格 (円/kg)	前年上位3産地 (%)	市場からの提言等
実績	2020年		30	1,894	愛知 64%	愛知産は出荷時に十分な選別が行われ、大粒で実がしっかりと詰まっているため、他の競合産地よりも品質が高く、市場での評価は高い。生産者の高齢化は心配材料であるが、産地では行政も生産振興に積極的であると聞いており、現在の生産量を維持できるようにお願いしたい。
	2021年		32	1,237	静岡 10%	
	2022年		37	2,198	茨城 8%	
	2023年		30	3,149		
	2024年		33	2,446		
5カ年平均			32	2,185		
2025年見通し			34	2,600		

愛知産の動き

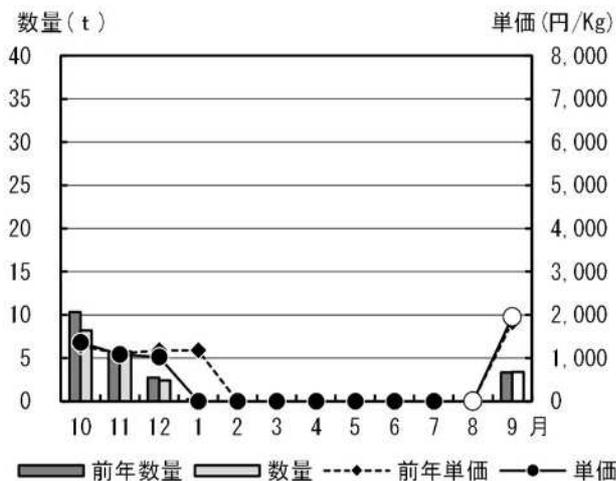


産地概況

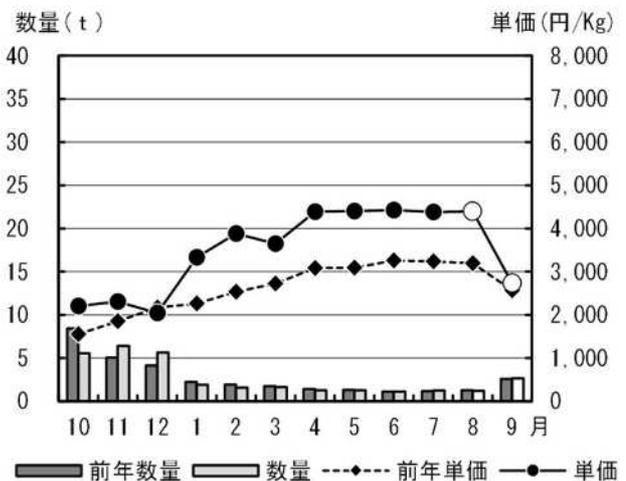
主要産地では高温や少雨が続けているが、9月の入荷量は、本県は前年をわずかに上回る見込み。競合産地の静岡、茨城もわずかに上回ると見込まれる。静岡の入荷開始は9月上旬の予定である。

9月に入荷される品種は、本県、静岡、茨城のいずれも早出しの「久寿」となる。本県は前年同様に着果量が多く、やや小玉傾向で、L～2Lサイズが中心となる見込み。静岡、茨城も着果量が多いが小玉傾向となっている。

競合産地の動き (静岡)



競合産地の動き (茨城)



2 入荷量・価格の動き

品目名 いちじく

前年上位3産地(%)

和歌山 31%

愛知 26%

新潟 14%

